

# 芽室町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 概要

芽室町内に事業所を持つ、(有)こばとハイヤーが、芽室町市街地循環線を運行する。運行は、1日5便で、1便当たり26.8kmを運行する。  
運行路線の決定に際しては、町民アンケート、市街地町内会連合会等の意見交換を基に、芽室町地域公共交通活性化協議会において議論を重ね、決定した。

## 芽室町生活交通ネットワーク計画の目標

- (1)事業の目標  
1便あたりの乗車人数目標を10人とする。
- (2)事業の効果  
高齢者や障がい者などの、日常生活・移動手段を確保する。  
町民の公共交通に対する満足度を向上させる。  
高齢者等の外出支援による福祉を増進する。  
中心市街地の活性化を図る。

## 平成25年度事業概要

芽室町内に事業所を持つ、(有)こばとハイヤーが、芽室町市街地循環線を運行。起点(東6条9丁目)から終点(芽室駅前)まで市街地を循環する。

## 地域公共交通の現況

JR根室本線(芽室駅、大成駅)  
・十勝バス(株)(市内1路線)  
・スクールバス(13路線)

## 芽室町地域公共交通活性化協議会開催状況

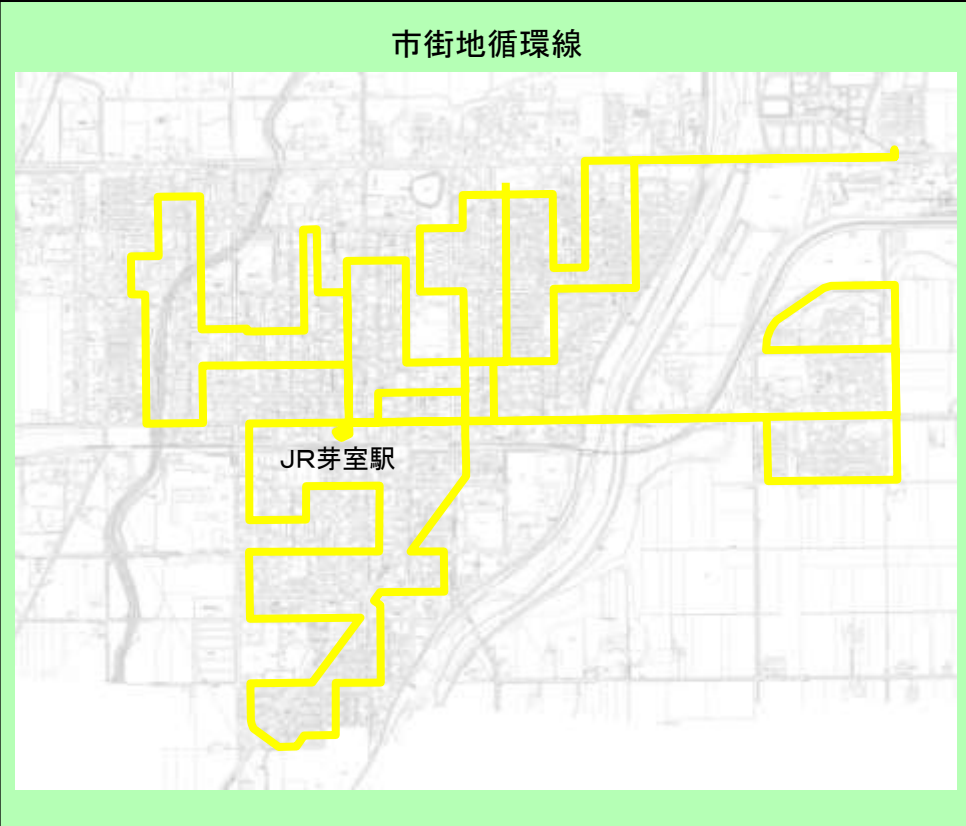
5月17日 第1回協議会  
平成24年度予算について  
11月21日 第2回協議会  
平成25年度予算について  
停留所名の変更・停留所の新設について  
2月25日 臨時会議(書面)  
停留所位置の変更について

# 平成25年度事業の実施状況

## 1) プロセス、創意工夫

- ・町広報誌、マスコミ等を活用し、PRを実施。
- ・市街地町内会連合会との意見交換を重ねたことにより、「自分たちのバス」という意識が定着。バス停の除雪も各町内会において実施。
- ・芽室特産の「マチルダ」(じゃがいも一種)のキャラクターをバスのデザインにすることにより、子どもからお年寄りまで愛着を持ってもらえた。
- ・利便性向上に向けた検討資料とするため、町民に対し、バス車内のほか、町内スーパーや公立病院等で運行に関する意向を聞き取り調査した。

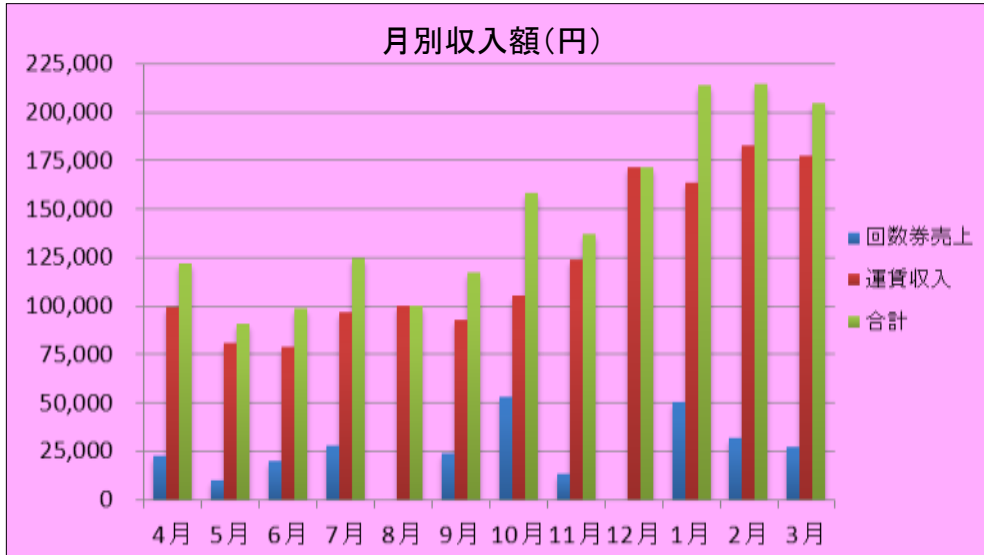
## 2) 運行ルート



## 3) 利用実績



## 4) 収入実績



## 5) 事業実施の適切性

計画どおり事業は適切に実施された。

## 6) 目標・効果達成状況

目標乗車人数10人／便に対して、10.0人／便であった。

(昨年度は利用が多い冬季から運行を開始し、10.8人／便であった。)

## 7) 事業の今後の改善点

回数券や運転免許返納者の優遇措置等の他、バスの周知や町民の意見を反映したバス停の再検討なども踏まえ、乗車人数10人/便の目標を維持したい。  
また、町民に聞き取りで実施した運行に関する意向調査の結果を参考に、利便性向上のため、路線の見直しの検討を継続して行いたい。

## 8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

自己評価のとおり、適切に事業が実施されている。  
芽室駅を中心に四方へ循環するという地理的な好条件と住民への周知と住民からの意見を反映したバス停の設置等を行うことにより、利用者が安定的に推移し、目標値に達している。  
今後、逆回り路線の新設など更なる利用者利便の向上を図ることにより、引き続き持続可能な事業となることを期待する。